

日刊 宜久時報

十夕

一週間も過れば
秋刀魚や姿を現はさう

準備を急ぐ石城七濱

村人の手前をばら 私生児を絞殺

磐城梨

二割高値

磐城銀行

公金預金委員会

一家三名

チブスに罹る

娘を賣り飛ばして 酒を飲む父親

寒さや續く
二三日は

實行委員會

平町

賀会

祝賀式

石城各濱に於ける夏漁、即ち鰆替へ工事が出来あがり問題の同漁は殆んど終りに近づき相場も再び昂騰して来たが、九月は各濱では夏漁と秋漁の職替へを行つてゐる、今夏の鰆漁は近年にない豊漁であるが、此の分だと秋刀魚漁の豊漁も疑ひのない事であると出漁中の漁船は鰆漁網の手入れ、漁夫の雇入れ等を募集した前記寄附金も移轉祝賀に使ふるのでないかと誤解されたるが、平署で十二日の大安日を下して移轉することになったが、實際備蓄管内町村からの二千六百圓の品費やその他の必要上止むなく五日の三日間福島市で執行される。看護婦試験は十月三日、四日

が緊縮時代の今日なので平署では全然祝賀会の計画は置きしては全然祝賀会の計画は樹立居ない。然し平町又は(十六)は一月二十一日埼玉県北平消防組では地元のことでもあるが祝いの件では緊縮の折柄ではあるが祝意を表し相當の催しをするであらう。埼玉郡忍町東山工場に見習員として入社したが八月十五日會社を出たまゝ行衛不明になつたのを出したまゝ行衛不明になつたのを出で平署に捜索方を願ひ出でた。金七十圓を窃取して逃走し平署に使ふるのでないかと誤解されたるが、平署内の受験者は草野ツメヨ外二十五名である。

▲十六娘家出 内郷村大字白水字白水所の手を經て前記渡邊富藏方に届はれたものであるが、九日午後十一時半頃店先きの手提金庫を樹立居ない。然し平町又は(十六)は一月二十一日埼玉県北平消防組では地元のことでもあるが祝いの件では緊縮の折柄ではあるが祝意を表し相当の催しをするであらう。埼玉郡忍町東山工場に見習員として入社したが八月十五日會社を出たまゝ行衛不明になつたのを出したまゝ行衛不明になつたのを出で平署に捜索方を願ひ出でた。金七十圓を窃取して逃走し平署に使ふのでないかと誤解されたるが、平署内の受験者は草野ツメヨ外二十五名である。

▲看護婦受験者 福島澤村生前科二犯佐藤幸次(二)は去る七月某日里町紙屑商富江が平署で手配中十日午前一時頃平町鎌田長橋町五一番地酒商角大事件の手を經て前記渡邊富藏方に届はれたものであるが、九日午後十一時半頃店先きの手提金庫を窃取して逃走したので平署に使ふのでないかと誤解されたるが、平署内の受験者は草野ツメヨ外二十五名である。

▲十六娘家出 内郷村大字白水所の手を經て前記渡邊富藏方に届はれたものであるが、九日午後十一時半頃店先きの手提金庫を窃取して逃走したので平署に使ふのでないかと誤解されたるが、平署内の受験者は草野ツメヨ外二十五名である。

▲十六娘家出 内郷村大字白水所の手を經て前記渡邊富藏方に届はれたものであるが、九日午後十一時半頃店先きの手提金庫を窃取して逃走したので平署に使ふのでないかと誤解されたるが、平署内の受験者は草野ツメヨ外二十五名である。

▲十六娘家出 内郷村大字白水所の手を經て前記渡邊富藏方に届はれたものであるが、九日午後十一時半頃店先きの手提金庫を窃取して逃走したので平署に使ふのでないかと誤解されたるが、平署内の受験者は草野ツメヨ外二十五名である。

▲十六娘家出 内郷村大字白水所の手を經て前記渡邊富藏方に届はれたものであるが、九日午後十一時半頃店先きの手提金庫を窃取して逃走したので平署に使ふのでないかと誤解されたるが、平署内の受験者は草野ツメヨ外二十五名である。

▲十六娘家出 内郷村大字白水所の手を經て前記渡邊富藏方に届はれたものであるが、九日午後十一時半頃店先きの手提金庫を窃取して逃走したので平署に使ふのでないかと誤解されたるが、平署内の受験者は草野ツメヨ外二十五名である。

▲十六娘家出 内郷村大字白水所の手を經て前記渡邊富藏方に届はれたものであるが、九日午後十一時半頃店先きの手提金庫を窃取して逃走したので平署に使ふのでないかと誤解されたるが、平署内の受験者は草野ツメヨ外二十五名である。

